

平成20年度質の高い大学教育推進プログラム審査結果表【選定】

機 関 名	大阪成蹊大学				
取 組 名 称	地域のニーズに応える学生参画事業の展開				
取組学部等	芸術学部				
申 請 区 分	上記以外の工夫改善を主とする取組				
整 理 番 号	A31069	申 請 の 形 態	単 独	取 組 期 間	3 年
申 請 の 分 類	体験活動	地域活性化		その他	
キ ー ワ ー ド	学生が参画する, 地域活性化, 心豊かな社会を作れる人材の育成, ものづくり未来学校, ネットワーク型プログラム				

<選定理由>

本取組は、教育の質の向上への対応においては人材育成の目的が明確であり、地域活性化への取組を大学の目標としており評価できる。取組課題については、特に地域の市民や子供の芸術活動を支援する課題と、学生の参画活動を推進している点で評価でき、また、取組に関連する事業について、近年立ち上げたものであるが実績をあげており、今後の取組に期待が持てる。

一方で、今後の取組の実施に当たっては、教職員のさらなる積極的な参加が望まれる。さらに、評価体制を確立し、PDCA サイクルを活用して、プログラムの充実を図る必要がある。

取組の概要【1ページ以内】

本学部は改組開学して5年経過の、研究生を含めて800名弱の小さな芸術学部である。しかしながら、『大学は、地域とともに発展すべきである』という共通認識のもと、教育と研究を2つの柱とするなら、地域貢献を3つ目の柱に掲げている学部である。この地域貢献の分野において、本学部は平成18年度より総合教育研究支援センターが中心となり、とりわけ「**ものづくり未来学校**」と称して、**地域活性化**への一助となるべく諸活動を希望する学生とともに展開してきた。結果、子どもたちや地域の一般市民たちと、様々な講座を通しての交流は大きな成果へと繋がり、今や地域からの要請期待も増大するばかりである。また、サポートしてきた学生たちのこうした体験活動は、そこから得る教育効果も高いことから、平成20年度より「地域協同教育ネットワーク・プログラム」と題し、学部をあげて本格的に取り組むべき事業とした。従来の公開講座の提供や施設設備を開放するだけでなく、①それらに関連づけ、②体験型カリキュラムを新編成し、しかも、③地域関係機関との連携をもとに、市民のニーズに応えられる**ネットワーク型プログラム**として構成し発展させていく。このプログラムの特徴は、**学生が参画する**システム構成になっていることで、学部の教育目標である「専門領域を超えた幅広い視野と知識を持ち、社会の要請を敏感に感じとり社会とのコミュニケーションの中で表現能力を生かした、**心豊かな社会を作れる人材の育成**」実現をねらいとしている。全員が少なくとも1回は参画する体験型カリキュラムをはじめ、多様な「場」を提供しての本プログラムシステムは、学生たちの自己発見に繋がり、同時に、小規模な大学が地域活性化に向けて何ができるかという課題解決の糸口となる取組である。

